

第10期ハイパフォーマンスプログラム

日本ライフセービング協会
LSスポーツ推進本部長 内田 直人
スポーツ育成委員長 宮部 周作

●目的

日本ライフセービング協会ハイパフォーマンスプログラム（以下JHP P）は、世界大会をはじめとする国際大会において総合順位を上げるために、以下を行う。

- ① 世界レベルで通用する競技者を計画的に育成する。
- ② 世界大会を目標としたチーム作りを計画的に行う。
- ③ ライフセービング指導に携わる者を増やす。
- ④ ジュニア・ユース世代への普及と、競技者層拡大を行う。

●基本方針

1. 強化指定選手選考方法

- ① 強化指定選手は、選考委員会により選出される。
- ② 選考委員会は、選手選考委員会規定に基づき選出された者で構成される。
- ③ 選考は、以下に指定された競技会における成績とパフォーマンスを基に行われる。

2. 強化指定選手期間

- ① 原則として、2016年11月から2018年11月末日までの2年間とする。
- ② 上記期間内であっても、競技成績などを考慮して強化指定選手の入れ替えが行なわれることもある。
- ③ 強化指定選手の入れ替えを行なう場合は、主として6月および10月とする。
- ④ けがや不測の事態などにより、選手本人または所属クラブからの辞退があった場合は、上記期間内であっても入れ替えを行なう。
- ⑤ 誓約書の内容に反した場合は、いかなる理由でも解任する。

3. JLAハイパフォーマンスチーム

JLAハイパフォーマンスチーム（以下 JHPT）に選ばれた強化指定選手は、各専門種目のトレーニングをはじめ、競技に必要な知識や技術を学び、自身の競技力とチーム力を向上させるための教育を受けることができる。

選手選考委員会により選任された強化指定選手は、以下に定める条件により JHPT・トップ選手、もしくは JHPT・強化育成選手に振り分けられる。

4. JHPT選考に関する条件

- ① JHPT・トップ選手
国際大会に日本代表として出場した経験を有し、過去に JHP Pに参加していること。
- ② JHPT・強化育成選手
日本代表選手として Rescue2018 または Rescue2020 の中心となる選手の発掘、育成を目的とし、下記の条件を考慮して行う。尚、下記条件に優先順位はなく、条件を満たす項目数が多いほど評価が高いものとする。
 - 1) プール競技個人種目において、優秀な成績を収めた者。
 - 2) サーフ種目（パドルボード、サーフスキー、オーシャンマン、オーシャンウーマン）で、世界大会において活躍が期待できる者。
 - 3) ビーチ種目（ビーチフラッグス、ビーチスプリント）で、世界大会において活躍が期待できる者。
 - 4) プール競技、オーシャン競技での複数個人種目およびチーム種目で活躍が期待できる者。
 - 5) エントリー用紙の申告タイムが著しく秀でている者。

5. 選考対象競技会

- ① 全日本プール競技選手権大会
- ② 全日本種目別選手権大会

- ③ 全日本選手権大会
- ④ 国際大会
- ⑤ 全日本学生選手権大会
- ⑥ 全日本学生プール競技選手権大会
- ⑦ 全日本ユース選手権大会
- ⑧ 全日本ユースプール競技会

6. 強化指定選手の区分と人数

- ① JHPT・トップ選手： 年齢制限なし 男女各10～12名
- ② JHPT・強化育成選手： 年齢制限なし 男女各10名程度

●施策

- 1. JHPT・トップ選手、JHPT・強化育成選手は、強化事業において必要に応じて招聘され、トレーニング・研修などの機会が与えられる。
- 2. パーソナルプロフィール・傷害調査および体力測定等を実施する。
- 3. 強化指定選手には、ユニフォームを支給または貸与する。
- 4. その他必要に応じて国内外での強化合宿や遠征を行ない、事業を立案し実施する。
- 5. 小中高校生会員を対象とした練習会を定期開催する。参加自由。

●日本代表チーム選考

日本代表チームについては、日本代表監督がJHPT・トップ選手及び強化育成選手から以下の選考基準を満たす者を中心として、日本代表監督が選出する。

- 1. プール競技で、世界大会16位想定タイム（B決勝ライン）をクリアした者。（随時更新）
- 2. 全日本プール選手権で個人種目において、日本新記録を樹立した者。
- 3. サーフ種目（パドルボード、サーフスキー、オーシャンマン、オーシャンウーマン）で、世界大会において3位以内の入賞を見込める者。
- 4. ビーチ種目（ビーチフラッグス、ビーチスプリント）で、世界大会において優勝が見込める者。プール競技、オーシャン競技での複数個人種目およびチーム種目で活躍が期待できる者。

●ユース日本代表チーム選考

世界選手権2018におけるユース日本代表チームについては、日本代表監督が以下の基準を満たす者を中心に選出する。

- 1. プール種目：LWC2016ユース大会16位のタイムを切ること
- 2. オーシャン種目：全日本選手権8位以内、種目別選手権8位以内
- 3. 複数種目で以上条件を満たしていること

●その他

強化事業予算に応じて下記をJHPTに補助する。

- 1. 強化事業に関係する交通費の宿泊費の一部補助。
 - 2. 日本代表チームおよびユース日本代表チームの国内外派遣に関係する交通費および宿泊費等の補助。
- ※ 上記に関係する費用を選手が負担する場合がある。負担金について都度、金額など説明を行う。なお、補助の内容については、適宜説明を行う。

●予定

- 1. 第10期JHPT合宿スケジュール（予定）※日程や内容については、大幅に変更される場合もあります

日 程	対 象	内 容
2017年1月8日	第10期JHPT	顔合わせ
2017年1月20～21日	第10期JHPT	プール・ビーチ・フィジカル競技強化合宿
2017年2月19日	第10期JHPTトップ選手	メディカルチェック
2017年3月18～20日	第10期JHPT	プール・フィジカル・オーシャン強化合宿

2017年4月22～23日	第10期JHPT	プール競技強化合宿
2017年6月10～11日	日本代表	オーシャン競技強化合宿
2017年7月2～3日	日本代表	プール強化合宿
2017年10月28～29日	第10期JHPT	オーシャン競技・フィジカル強化合宿
2017年12月中旬	第10期JHPTトップ選手	メディカルチェック
2018年1月20～21日	第10期JHPT	プール・ビーチ・フィジカル競技強化合宿
2018年3月18～20日	第10期JHPT	プール・フィジカル・オーシャン強化合宿
2018年4月(未定)	第10期JHPT	プール競技強化合宿
2018年8月(未定)	日本代表	プール・オーシャン競技強化合宿
2018年9月(未定)	日本代表	プール・SERC競技強化合宿
2018年10月(未定)	日本代表	プール・オーシャン競技強化合宿
2018年11月(未定)	日本代表	プール・SERC競技強化合宿

2. 参加予定の国際大会

- ① 三洋物産 インターナショナル ライフセービング カップ 2017
開催日程 : 2017年6月24～26日
開催場所 : 日本 福岡県百道浜
開催種目 : オーシャン種目
- ② World Games 2017
開催日程 : 2017年7月18日～23日
開催場所 : ポーランド
開催種目 : プール競技
- ③ ORANGE/GERMAN CUP2017
開催日程 : 2017年11月
開催場所 : オランダ/ドイツ
開催種目 : プール競技
- ④ International Surf Rescue Challenge 2017
開催日程 : 2017年11月30日～12月3日
開催場所 : ニュージーランド マウントマンガヌイ
開催種目 : オーシャン競技
- ⑤ Lifesaving World Championships 2018 (世界大会)
開催日程 : 2018年11月17～23日
開催場所 : オーストラリア
開催種目 : プール競技・SERC競技・オーシャン競技

●第10期JHPTスタッフ

ヘッドコーチ : 佐藤文机子
コーチ : 北矢宗志、田村憲章、筒井健裕
アシスタントコーチ : 青木将展、植木将人、長竹康介、三木玲奈
トレーナー : 笠原政志、後関慎司、清水伸子、細川英範
アシスタントトレーナー : 山田誠
アンチドーピング : 錦織延功、小西由紀
サポートスタッフ : 花岡香那

以上